

令和3年8月3日 環境生活委員会開催状況 (環境生活部)

開催年月日 令和3年8月3日(火)
 質問者 民主・道民連合 高橋 亨 委員
 答弁者 スポーツ局長 長谷川 浩幸
 東京オリンピック連携局長 酒井 隆
 東京オリンピック連携課長 石動 貴子

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 オリンピックについて</p> <p>(一) IOCの姿勢について この間、オリンピックが始まる前からIOCのですね様々な役員の方々の発言が、どうも国民の神経を逆なでをするような発言が非常に多かった訳でございます。オリンピックの開催につきましては、それぞれ国民の多くが延期、中止ということを望んでいた状況ではありますけれども、強行をするような形で開催をされてきたと思っております。しかし、その中であってですねIOCのバッハ会長やユーツ事務局長などの発言は、これは残念だというふうに思っているわけですが、北海道もこれはマラソン、サッカーさらには競歩ということで、レースの会場を提供する立場であるわけですし、それぞれのIOCの発言についての見解をお持ちなんだろうと思っておりますので、まずそのことについて、お聞きしたいと思います。</p> <p>(再質) 表だったきれいな言葉で答えをいただきましたけれども、それではですね、国民感情をきちんと把握しているとは思えない。多くの方々ですね多少の犠牲の問題や、さらにはアルマゲドンの起きない限りは開催をするんだというお言葉をお聞きして、さらにはですね、アナウンス広報部長にいたっては、これは、感染はパラレルワールドだと、別の世界のことなんだというような言葉で言ってる訳ですよ。そのことを私たちは耳にするたびにIOCの本質を見る思いがするわけです。ですから、先程も申しましたが、東京オリンピックのですね、競技の会場としての道としては先程おっしゃったような見解しか持ち得ないとすれば、これは国民の思いや道民の思いとかなり乖離をしている受け止め方しかしていないのかなと。逆に言うと、IOCに対してとても好意的な受け止め方しかしていないのかなと思っておりますが、道はそういうことでよろしいのでしょうか。改めてお聞きします。</p> <p>取り組んできたことではなくて、話されたことについて、どのような認識を持っているかということをお聞きしているんですけど、かみ合わないですね。かみ合わないままでいいんですか。私は取り組んできたことを聞いている訳ではないんです。 言いづらかったらいいです。言いづらいと言うことだけは受け止めさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>(二) マラソン競技時の天候等について マラソンを行うというよりも、5日から8日まで、</p>	<p>(東京オリンピック連携課長) IOCの姿勢についてでございますが、IOC・国際オリンピック委員会におきましては、「オリンピックの本質は、競技とアスリートにあり、それは世界を一つにする力がある」を理念の一つに掲げ、東京2020オリンピック大会の主権者として、史上初の延期となった大会の安全・安心な開催に向け、国や開催都市である東京都、運営主体である大会組織委員会や各国国際競技団体とともに、大会関係者向けの感染症対策や、コスト削減、大会の簡素化などに取り組んできたものと認識しております。</p> <p>(東京オリンピック連携局長) IOCの姿勢についてでございますが、IOCの関係者の発言に関しまして、様々な報道があることは承知をしておりますが、IOCは大会の安全、安心な開催に向けまして、国や東京都、大会組織委員会などとともに、大会関係者向けの感染症対策やコスト削減、大会の簡素化などに取り組んできたものと認識をしております。</p> <p>(東京オリンピック連携課長) マラソン競技時の天候等についてでございますけれども、</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>競歩から始まって、そしてマラソンとなるわけですが、大変暑い時期でございます。今日も、こちらに向かってくるときに、センタービルのところにある温度計は朝9時で32度を表しておりました。当初は東京で真夏にやるなんて何てことなんだって話でしたけれども、これもIOCの理由によってですね、そういうふうにはせざるを得ない状況があった訳でございますけれども、暑さ対策をどうするんだ、東京ではですね、開催スタート時間を早めるということで、当初は4時とか5時とかって話もありましたけれども、結局7時に落ち着いた。そしてですね、遮蔽熱のための舗装を130kmほどを新たに舗装し直して、シャワーミストなどもですね設置をするとそういうことをやっている。小池さんは打ち水をするとか、風鈴を鳴らすだとか、そういうことは言っておりましたけれども、そして札幌にIOCが独断で決めたわけですけども、その時には小池さんは怒ってですね北方領土でやればいいと言うことまで発言をされた状況でありますけれども、当日のレースの時の天気予想、気温の予想はどのように考えられているのか。</p> <p>(三) 熱中症対策について</p> <p>これもですね、大会を誘致するときに夏の東京は非常に温暖でレースもスムーズに進みアスリートのパフォーマンスが最大限に発揮できるとゆうようなコマースシャルでですね誘致したということもあります。先程言ったようにですね何度なるか分からないのは、これはちょっと私にも当日を予想するのは難しいと思いますが、今は少なくとも科学的に1週間先や10日先ですね天候、それから気温をですね想定できる状況であります。私も毎朝おかえりモネを見ておりますが、それを見てですね、その気象会社はですね、ピンポイントでそれを出している状況ですし、先程言ったようにですね当然暑いときになってくるんだと思ってます。厚労省の指標でいけば、30度を超えると屋外での運動は控えるようにということになっておりますけれども、それでも強行してやられるようでございますが、この暑さ対策はですね当然今年の今お話がされましたし、それからテストマラソンも行われましたので、暑さ対策についてはですね夏のマラソン大会ですからロードレースですから、どのようなことを措置をしようとするかお伺いをしたいと思います。</p> <p>今言ったようなことは、招致としてなされるんだろうと思ってますが、それで十分かどうか私自身分かりません。少なくとも朝ですね、ちょっと早めに起きてジョギングなどを行っている経験からするとですねジリジリとくる太陽の熱、これもですねかなり大きな影響があるんじゃないかなと思っております。今までおっしゃったことについては、たぶんこれまでのですね札幌マラソンや北海道マラソン、時期的にどちらかというと北海道は冷涼だと思われてますけれども、夏の暑い時期にですねマラソンをやってますから、そういうことの色々なことを参考にしながら、物事を進めてるんだろうなとゆうふうに思っておりますけれども、しかし大変アスリートの方々の負担がかかるんじゃないか</p>	<p>ど、大会組織委員会では、世界陸連とともに、札幌のコース上で、開催一年前の同時刻に気象データを調査いたしまして、熱中症の危険度を判断する「暑さ指数」が低い値を示すなど、レース開催上も良好な気象環境であることを確認したところでございます。</p> <p>競技時の天候や気温を正確に把握することは困難ではありますが、暑さ対策や荒天時対策を講じるなど確実な運営に向けた準備を進めているものと承知しております。</p> <p>(東京オリンピック連携課長)</p> <p>暑さ対策、熱中症対策についてでございますが、大会組織委員会では、2019年に東京でテスト大会として開催された代表選考会に加えて、札幌で開催されたテスト大会の結果も踏まえ、選手向けに、給水ポイントの増設やクラッシュ氷の準備、救急車や救護車のレース随行、フィニッシュ地点への医師や理学療法士の配置、医務室やリカバリールーム内への氷風呂の設置などを行うこととしております。</p> <p>また、運営スタッフに対しましても、飲料水の配布や日除け対策のほか、待機場所や休憩所の用意や無理のない勤務シフトなどの暑さ対策が講じられているものと承知しております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>と思っておりますので、ぜひですね、これはやるというふうになってしまったのであればですね、なるべくこないだのアーチェリーの選手のようにですね熱中症になって倒れてですねし合いができないようなことにならないように、対応をですねきめ細かに行うべきだとゆうふうに思っておりますので、そのことを期待しておきたいというふうに思います。</p> <p>(四) 各種競技の経費について 北海道と札幌市は、先ほど言ったようにですね、サッカーの予選からはじまって、今のロードレース等々やるわけでございますけれども、これについての支出があるのかどうなのか。もうすでにですね、警備体制はできあがっているというふうに思っておりますが、札幌市は道路舗装直したり等いろいろしていますけれども、すべての支出は、IOCや組織委員会、国などが支出するものと受け止めてよいのか、お聞きします。</p> <p>(再質) コーツさんはですね、札幌で行われる競技の問題についての支出についてはですね、これはIOCと組織委員会、それから道と札幌市と、あらためて協議をしたいと言っているんですね。今ほどお答えがあったようなことだとすれば、協議の場というのは全く必要ないわけでありまして、多分その協議の場を求められても支出する意思は無いということで、その場にも顔を出しませんし、それを受けるといこともないというふうに私は受け止めてよろしいでしょうか。</p> <p>わかりました。今ほどお話がありましたけれども、支出は一切無いということで受け止めさせていただきます。</p> <p>(五) マラソン・競歩の観戦自粛について 次に、多くの方々が心配をしておりますけれども、先頃行われたサッカーはですね、屋内ですから閉じ込められたところでやっていますから、「無観客」ということで行われたということについては明らかであると思っておりますけれども、ロードレースの場合は公道を利用する競技でございます。公道を利用する競技の場合、これまでもトライアスロン、それから自転車ロードレースで、これは新聞だけではなくテレビの画像にも写っておりますけれども、観客が密になっている状況が現れているわけでございます。</p> <p>知事は自粛を求めています。しかしですね、「無観客」を基本にしても、観客はどうしても四年に一度の、それもですね、地元で開催されるというレースを見てみたいというふうに思うのが人情であろうと思うわけですが、先ほど申し上げたとおり「無観客」と言いつつも、現実としては、そういう結果が現れているわけでございますから、これは抜本的な対処になっていないのではないかなと思っておりますけれども、どのようにお考えなのかお聞きしたいと思っております。</p>	<p>(東京オリンピック連携課長) 競技の経費についてでございますが、大会経費の予算は、昨年12月に総額が示されておまして、会場整備や大会運営、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を、大会組織委員会、国及び東京都が負担することとしております。</p> <p>なお、各競技ごとの経費については、公表されておりません。</p> <p>(東京オリンピック連携局長) 競技の経費についてでございますが、東京オリンピックでは、会場整備や大会運営、感染症対策に係る大会経費につきましては、大会組織委員会、国及び東京都が負担することとしているところでございます。</p> <p>マラソン・競歩競技の経費につきましても、大会の全体予算の中で負担されるものと認識しております。</p> <p>(東京オリンピック連携課長) マラソン等の沿道対策についてでございますが、マラソン・競歩競技については公道で行われ、「無観客」の取扱いとすることができないことから、大会組織委員会では、沿道での観戦の自粛を要請することとしたものと承知しております。</p> <p>大会組織委員会では、観戦自粛の実効性を確保するため、テスト大会の結果も踏まえ、道外の沿道競技では行われていない立入禁止エリア、重点対策エリアの設定や、声かけ要員の大幅な増員など、沿道対策の強化を行ったところでございます。</p> <p>道といたしましても、観戦自粛を徹底するため、札幌市などと連携して、道民の皆さまに、「おうちでエール」をコンセプトに「自宅で、家族と、テレビで応援」を呼びかけているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(再質)</p> <p>自宅で観戦してくれというのはですね、これ、ずっと総理も言ってきておりますし、様々な関係者の方々がそう言いますけれども、先ほど言ったように競技が始まれば、ああいうような状況、競技を直接見ることは出来なくてもですね、国立競技場のオリンピックマークのところで記念写真をとるために人が密になって並んでいるという状況や、お台場にある聖火のところで記念撮影をとるために人が密集しているという状況もあるわけでして、政府の方が自粛をしてくれと言っても、なかなかそうはいかない。それは何でかということ、オリンピックを一方では開いているということの矛盾を多くの方々が感じているという状況があるものと思っています。北海道も同じようなことですね、札幌市で大通でパブリックビューイングをやるんですかね、よくわかりませんが。人に来ないでくれと言っておいて、人が集まるようなことをやっている。地下歩行空間でも、今日の新聞に出ていましたけれど、も桜を咲かせるとか。人に来てくれと言っているんですよね。</p> <p>一方ではですね、マラソン、これは全体に言えるのですけれど、陸上競技の最終的な競技ですね。いわゆるマラソンの花ですね。通常ですと、閉会式の終わる前にランナーがゴールをして、閉会式の前に表彰式があって、それから閉会式に入るというのが、夏季オリンピックの流れですね。オリンピック最終競技、最大の花です。そして、公道を走られるわけですから、これは国内の選手だけでなく世界のトップアスリートが公道を走る。陸上好きな方だけではなく、先ほど言ったように、私たちのようなちょっと暇があってちょっと走るような人間でも世界のトップアスリートはどのようなスピードで目の前を通過していくのか、その息づかいはどうなんだ、その風や息づかいを肌で感じてみたい、そしてそこに一緒にいるという、そういう世界観を味わいたいんですね。もうおわかりでしょうけどね。だって、野球見たってテレビで見た方がいいんです。しかし球場に集まる。コンサートもそうですよね。同じことです。そこに行って時間を共有することによって価値観を見いだすということです。そういう方々に来ないでくれと言っても、これは無理です。公道だからと言ってもですね、できないという話ですけども、公道ではできないという理由が私にはわからないですね。車の交通規制はしますけれど、人の交通規制はしないわけですよ。コース上の一本両端から完全に人をシャットアウトしてしまうと、その間にある例えば自宅や会社やお店があるような方々については通行証を出していただくとかということは、この間の期間で十分対応出来たはずだというふうに思っています。</p> <p>知事は人に集まってほしくないと言っている。しかし一方、人の集まるそういう要素は非常に大きいわけですね。これは、明日・明後日から競歩が始まりますけれども、最終のやつは土日、7日の土曜日に女子のマラソン、8日の最終日に男子のマラソンがあるわけです。まだ幾ばくかの時間があるというふうに思っています。感染予防のための最大の対処をするとするの</p>	<p>(東京オリンピック連携局長)</p> <p>マラソン等の沿道対策についてでございますが、マラソン・競歩競技につきましては公道で行われ、「無観客」の取扱とすることができないことから、大会組織委員会では、沿道での観戦の自粛を要請することとしたものと承知をしております。</p> <p>大会組織委員会では、市民生活や社会活動への影響も踏まえまして、スタート・フィニッシュのあります大通公園の一部など立入禁止とするエリアを設定するほか、駅前通を重点対策エリアとして、人の立ち止まりを防ぐような対策を行うほか、声かけ要員を大幅に増員しまして積極的な人の流れを促す対策をとることなど、沿道対策の強化を行ったものと承知をしております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>であれば、少なくとも、先ほど私が言ったようにコースの1本外側から人流を止めるということにしなければいけないのではないかなというふうに思いますけれども、ご見解をお聞きしたいと思います。</p> <p>どうもかみ合わないんですね。これは仕方ないかもしれないんですが。先ほど、公道を立ち入り禁止にはできないという話がありましたけれど、まさしく立入禁止地域は作るわけですし、公道で立ち入り禁止区域は作れないというのはどうも矛盾しているなと思います。</p> <p>さらに誘導の人を増やすと、新聞にも3倍、2千人ほどと言っていますけれども、テレビを見れば分かる通りですね、胸にプラカードを下げて黙って立っているだけです。確かにですね、スピーカーを持って「止まらないでください」ということはやるんでしょうけれども、これは上野のパンダと同じです。何の効果もない。だって見たいんですよ。見たい人がたくさん来るわけですから。その人流を押さえるということができていない。完全に囲ってしまうというか、先ほど言ったようにですね、コースの一本外側から絶対人も入れないという形にしていけば、これは人流を防ぐことができるんだろうと思いますけれども、そうではない。</p> <p>しかし、お答えによると、それは組織委員会がそうなんだから、私たちはそれに従うだけということなんですね。</p> <p>危機管理の立場から言うと、トップダウンというのは一番やりやすいんですよ。誰も責任をとらない。今回のやつも誰が責任をとるのかよくわからないんです。誰も責任をとらない。だって、上の言うことを聞いていればいいだけです。</p> <p>しかし、ボトムアップでやっていくと、様々なことが想定をされるわけです。こういうことが起きた場合どう対処していくかということです。いわゆるBプラン、Cプランというのができてくるんですよ。それがボトムアップです。</p> <p>だけれどもですね、そういうことも、組織委員会の鶴の一声だけで、会場を提供している地元の自治体として、そのことを先ほど言ったように上意下達だけで対応していくということだと、これから以降ですね、このために人流が増えていって、今、まん延防止の重点措置地域になっておりますけれども、遠からず緊急事態宣言になっていく可能性も秘めているという、そういう危険性があるということだけは伝えておきたいと思います。それは、少なくともこのマラソンで、マラソンだけではないですね、このロードレースで、できる限りの最強の対応策を取らなかったということに帰結するということだけはですね、担当者として覚えてほしいというふうに思います。</p> <p>(六) I O C関係者の来道について</p> <p>さて、当日なのかその前になるのかわかりませんが、I O Cの担当者も北海道、札幌に来るののだろうかというふうに思っています。その時の対応はどのようにされるのかお聞きします。</p>	<p>(東京オリンピック連携課長)</p> <p>I O C関係者の来道についてでございますが、現時点で、大会組織委員会では、I O C関係者の来道日程を公表しておりません。</p> <p>仮に来道される場合は、その対応について検討して</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>確かに、VIP、要人のことですから、公表はなかなかされないのかもしれないんですけども、先ほど一番先に言いましたけれど、IOCの方々というのはですね、その開催国のことは全く無視をしているということと、バッハさんのことを色々言われていますけれど、一泊250万円ほどのホテルにお泊まりになっていて、そこにある調度品はIOCの基準で取り替えさせて、さらには料理人も連れてくるというようなことが言われているわけです。現実なのかどうか私にはわかりませんが、そして、迎賓館を使って歓迎会がなされた。</p> <p>札幌に来た時に、知事や札幌市長がどういう対応するのか私にはわかりませんが、そこに対して特別な対応をするなんていうことは考えられないというふうには私は思いますので、ぜひそのことをふまえておいていただきたいと思います。</p> <p>(七) 2030冬季オリンピック・パラリンピックについて</p> <p>2030年に札幌冬季オリンピックを誘致することになっています。JOCは、国内で札幌冬季オリンピックを誘致することを認定いたしました。この要請に、札幌市長と北海道知事が行ったわけで、したがって、北海道も人ごとではないということになります。この間ずっと候補地として招致をする都市が少なくなっております。夏季は32年までが決定しています。冬期オリンピックは、7年ルールがあるとすれば、23年に決まるわけでございますけれども、たぶん手を挙げた瞬間に札幌市で決定ということになってくると思います。他に候補地が出ないという可能性が非常に高いです。他の所は、住民の賛意が得られないということで招致を辞めるということになってはいますが、たぶんそうなると思います。そうなると、当時4500億円と言われていた開催経費は、縮小して3000億円程度になっていると思いますけれども、しかし、今回のオリンピックをみても6700億円がいつの間にか約1兆6000億円となっています。さらに、最終的には3兆円を超えと言われてはいます。この間のオリンピックで当初予算内で収まったオリンピックはないと思います。札幌市は、またアンケートをやるとお聞きしております。賛成率は下がってきており、もはや半分を割っている状況であります。一緒に誘致を行った道として、札幌市民だけの声だけではなく、道民の想いをどのように捉えるのか、アンケート調査等を行う考えはあるのか、お聞きしたいと思います。</p> <p>2030年にコロナがどのように影響するのかわかりません。コロナに打ち克ったという証になってくるのかもしれませんが、札幌市の動向を見つつと言いつつも、先ほど言ったように誘致の協議に入ってくるのは早い段階になってくると思います。広域自治体の道としてどのような対応をしていくのかというのは問われていくと思いますので、やはり札幌市のアンケート調査の結果を踏まえつつも、道民はどのような意識</p>	<p>まいります。</p> <p>(スポーツ局長)</p> <p>冬季オリンピック・パラリンピックの招致についてであります。札幌市においては、2030年冬季オリンピック・パラリンピックの開催概要計画について、今後、見直し作業を進めることとしておりまして、その進捗状況を踏まえながら、市民の皆様の意向についても把握していくこととしているものと承知しております。</p> <p>2030年冬季大会の招致に向けては、道民や市民の皆様の理解と支持を得ていくことが大変重要であると認識しているところであります。</p> <p>道としましては、今後、招致の主体となる札幌市において、スケジュールや感染症のリスク面など、あらためてJOCなどと協議をするものと伺っておりますので、札幌市の動向を注視してまいりたいと考えております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
であるかという調査も行うべきだと思いますので、そのことを要望しながら質問を終わりたいと思います。	